

## 第56回技能五輪全国大会

### おきなわ技能五輪 2018 「冷凍空調技術」職種

金賞は北澤未鈴選手（オリオン機械(株) 長野県）

第56回技能五輪全国大会（おきなわ技能五輪・アビリンピック2018）が、2018年11月2日(金)～5日(月)に沖縄県で開催されました。沖縄県での開催は初めてです。大会スローガンは「Challenges for the future」。この大会は、2年に1回開催される技能五輪国際大会の選手選考も兼ねており、次回国際大会は2019年にロシアのカザンで行われる予定です。

冷凍空調技術職種の金賞は北澤未鈴選手（所属：オリオン機械(株)、長野県代表）となりました。以下は入賞者一覧のとおりで、28名の参加者のうち12名が入賞しました。

#### 第56回技能五輪全国大会 冷凍空調技術職種 入賞者一覧

	氏名	所属企業	都道府県
金賞	北澤 未鈴	オリオン機械(株)	長野県
銀賞	宮崎 大瑚	オリオン機械(株)	長野県
	糠谷 正輝	日立ジョンソンコントロールズ空調(株) 清水事業所	静岡県
	古谷 武将	オリオン機械(株)	長野県
銅賞	久保田 啓剛	日立ジョンソンコントロールズ空調(株) 清水事業所	静岡県
	二平 直哉	JR 東日本テクノロジー(株) 大宮支店	埼玉県
	亘 敦司	オリオン精工(株)	長野県
敢闘賞	長坂 騎名	日本ピーマック(株)	神奈川県
	藤田 空	JR 東日本テクノロジー(株) 大宮支店	埼玉県
	上野 聖也	茨城県立産業技術短期大学校併設水戸産業技術専門学院	茨城県
	渡辺 瑠哉	埼玉県立中央高等技術専門校	埼玉県
	今村 貴司	日本ピーマック(株)	神奈川県



閉会式で金メダルをかける北澤選手

開会式は11月2日に奥武山公園陸上競技場（那覇市）で行われました。ほとんど例がない屋外での開催のため天候が心配でしたが、曇天で思ったより気温は上がり比較的過ごしやすい環境のもとでの実施です。オープニングアトラクションでは、琉球空手の演武や太鼓を打ち鳴らす伝統芸能「エイサー」などの沖縄らしい演出で出席者達を盛り上げていました。また、大会会長として玉城デニー知事のあいさつがありました。42職種1,292人の選手達は未だこの時は緊張もせず楽しんでいました。



北澤選手気密試験実施中



北澤選手のろう付作業の様子

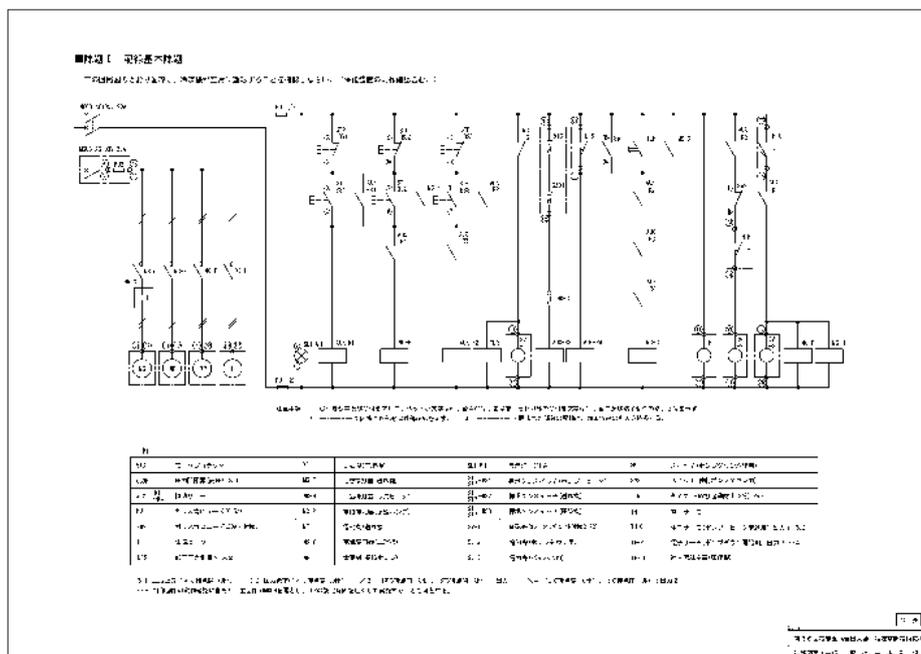
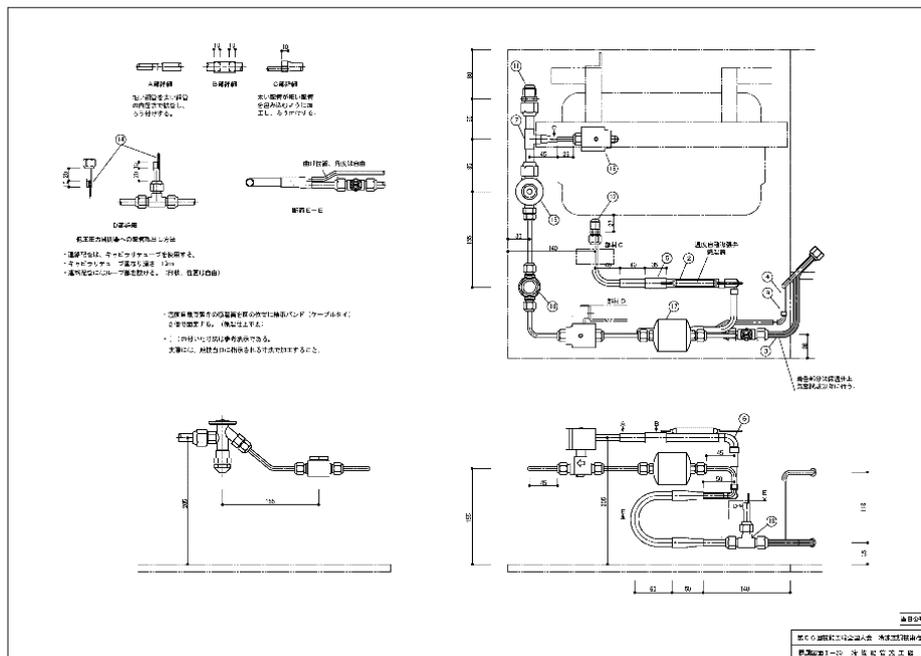
冷凍空調技術職種の競技は、11月3日(土)に、沖縄市立総合運動場（沖縄市）のグリーンフィールドで行われました。この会場では、当職種の他に、曲げ板金、配管、自動車工の計4職種が開催されました。参加選手は28名（10県）と前回とちぎ大会の35名にはおよびませんが、2004年に参加者6名で立ち上がった当職種としては感慨深いものがあります。会場の隣にあるコザしんきんスタジアムは広島東洋カープの春季キャンプ場で、グリーンフィールドは室内練習場です。天井が高く、床面は一面人工芝で、人工芝の損傷防止のため競技エリアにはコンパネ養生がされています。最大（最悪？）の特徴として空調が全くありません。また、競技当日の天気は雨で、時よりスコールのような猛烈な雨と風がすごくて、ガス溶接の炎や配付した資料が飛ばないように外壁に相当するシャッターは全閉に近くしたため、空気が流れがなく選手は汗だくになっての作業となってしまいました。例年11月頃に開催することが多く、本州ならば寒い時期ですがここまで暑いとは予想外です。



競技中の会場の様子

出場選手は各都道府県職業能力開発協会等を通じて選抜された、原則23歳以下の者です。昭和38年から始まった技能五輪全国大会は将来日本を支える技能者を育てることや「ものづくり」の大切さを知ってもらうことを目的に開催されており、今回で56回目となります。

競技課題は国際大会に近づけるべく、コンデンシングユニットを使用して、①銅管を任意のアルファベット型に事前加工した「パネル蒸発器」を着霜させアピール性を高める、②サーモオフ時は装置（蒸発器）内の冷媒をポンプダウンして圧縮機を停止させる、③当日公表される配管寸法と制御追加課題に対応する、④試運転を行い仕様能力が発揮できているかの測定と能力計算処理、⑤タイミングチャート作成を含むペーパーテストという冷凍空調技術の総合的な技術が求められる大変高度な内容となっています。



課題 I 当日公表冷媒配管施工図（上）と配線基本課題（下）

午後は課題Ⅱ（運転データ測定やペーパーテスト）と同時に冷凍機を運転してパネル蒸発器の着霜状態を確認します。



蒸発器の着霜状態（白丸で囲った部分がパネル蒸発器）

今大会も、一定基準以上の成績を収めた選手は、1級技能検定冷凍空調機器施工の実技試験が免除されます。H27.4月に施行されたフロン排出抑制法により、冷凍空調施工の確かな技術が求められる気運が高まっている今、漏えい対策のみならず、冷媒配管施工要素、気密等各種試験実施、制御配線作業と当日公表の変更対応、p-h線図・空気線図等を含むペーパーテストと、1級技能検定の要素を十分満たしている内容ですから誰もが納得できると思います。



全参加選手と筆者で記念撮影

設備業者のみならず、メーカー系、専門学校等学生が参加していて、完成できない選手もいる中、学生である茨城県の上野聖也選手及び埼玉県の渡辺瑠哉選手が共に敢闘賞入賞と、業界にとって将来が非常に楽しみな人材が育成されていると感じます。

次回57回技能五輪全国大会は、愛知県において、2019年11月15日(金)～11月18日(月)で開催予定です。次回は寒いだろうな…。引き続き、日設連も競技運営に協力していく予定です。

最後に、今大会では、協賛（材料・機器の無償提供等）を、(株)鷺宮製作所、橋本総業(株)及び沖縄県冷凍空調設備協会にいただきました。お礼申し上げます。